

令和6年12月2日
(2024年)

保護者のみなさまへ

吹田市立津雲台小学校
校長 中野 圭子

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬に個人ごとの結果をお返ししました。この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語

《概要》

今回の学力調査は、ほぼすべての領域で全国値を上回る結果でしたが、「話すこと・聞くこと」の一部の問題で課題が見られました。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・どの問題も、正答率が全国値を上回りよく理解できていました。

情報の使い方に関する事項

- ・どの問題も、正答率が全国値を上回りよく理解できていました。

話すこと・聞くこと

- ・「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」は、全国値を上回りよく理解できていました。
- ・「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること」は、全国値をやや下回り課題が見られました。

書くこと

- ・どの問題も全国値を上回っているものの、「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、じぶんの考えが伝わるように書き表し工夫すること」は、正答率が低く、課題が見られました。

読むこと

- ・どの問題も全国値を上回っているものの、「人物像を具体的に想像することができる」は、正答率がやや低く、課題が見られました。

●国語科における成果と今後の改善点について

全体的に全国値を上回り良好な結果でした。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国値を大きく上回っており、引き続き相手や場面に応じた適切な言葉の使い方等指導していきます。「話すこと・聞くこと」では、意見や提案などを聞く際に、事実と意見とを分けて聞くことができるよう指導していきます。「書くこと」においては、学習指導要領で示される指導事項をしっかりと押さえたうえで、低学年では「見聞きしたことを書く活動」、中学年では「事実や、それを基に考えたことを書く活動」、高学年では「考えたことや伝えたいことを書く活動」を系統立てて指導していきます。「読むこと」に関しては、登場人物の行動や気持ち、相互関係や心情などについて叙述や描写を基に捉えたり、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持ち、自分の考えをまとめたりする学習場面を数多く設定します。主な言語活動としては、低学年では、「読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動」、中高学年では、「詩や物語などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことなどを伝え合ったりする活動」を系統立てて指導していきます。

●算数

《概要》

今回の学力調査は、ほぼすべての領域で全国値を上回る結果でしたが、「図形」の一部の問題で課題が見られました。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と計算

・どの問題も、正答率が全国値を上回りよく理解できていました。

図形

・「直方体の見取り図について理解し、かくことができる」では、全国値をやや下回り、課題が見られました。

変化と関係

・どの問題も、正答率が全国値を上回りよく理解できていました。

データの活用

・どの問題も、正答率が全国値を上回りよく理解できていました。特に「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる」は、全国値を大きく上回っていました。

●算数科における成果と今後の改善点について

全体的に全国値を上回り良好な結果でした。「数と計算」では、問題に記載されている情報からわかることを図や表などに整理し、問題に取り組むことができるよう指導を充実させていきます。「図形」においては、図形を構成する要素にも着目させ、見通しを持たせながら簡潔かつ的確な表現を用いることができるよう指導していきます。また、公式を適切に使用できるよう既習事項を

繰り返し復習し、図を使いながら問題を解き進めることができるよう指導していきます。「変化と関係」では、既習の量(長さ・重さ・かさ・面積)と違い、速さは単位量当たりの大きさであることを、意味や表し方について理解できるよう指導していきます。また自分の解き方を相手にも伝わるよう説明することでより考えを深めていきます。「データの活用」においては、複数のデータから必要な情報を読み取ったり、そのデータを基にして根拠を示して説明したりする学習に取り組みます。問題解決するために、条件や情報を解釈し、数学的に表現し判断する活動を算数はもちろん、他教科でも取り組んでいきます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・「先生は良いところをみとめてくれている」と答えた児童は全国値を上回っていました。
- ・「学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に「3時間以上」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」の質問等では、ゲームやスマホを使う時間は全国値よりも下回っていました。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に肯定的に答えた児童の割合は全国値をやや下回っていました。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に肯定的に答えた児童は全国値をやや上回っていました。
- ・「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、全国値をやや下回っていました。

【教科・学習について】

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童は、全国値をやや下回っていました。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「国語の勉強は好きだ」と答えた児童は、全国値をやや下回っていましたが、「国語の勉強は大切だと感じている」「将来社会に出たときに役に立つ」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」と答えた児童は、全国値を上回っていました。
- ・「英語の勉強は大切だ」と答えた児童は、全国値を上回っていましたが、「英語の勉強は好きだ」と答えた児童は、全国値を下回っていました。

3 今後の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査は、全体的に全国値を上回る結果となりました。これも保護者の皆さまが、子どもたちの学習環境づくりに日々留意して下さっているおかげだと思います。今後も引き続き、ご協力よろしくお願い致します。今回の調査で明らかになった課題につきましては、しっかりと検証し、課題解

決に向けた取り組みを充実させてまいります。

学習面においては、学習指導要領でも示されている「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、以前より取り組んでいる「伝え合う力」の育成を基盤にして、学習で得た知識・技能を活用しながら、自分の考えを書いたり発表したりする活動を随時取り入れていきます。「書くこと」に関しては、教科横断的なカリキュラムを作成し、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫していきます。また、一人一台端末(iPad)を思考を深めるひとつのツールとして有効的に活用していきます。複数の教科の連携、そして地域とも連携しながらカリキュラムマネジメントを行い、子どもたちの「生きる力」を育んでいきたいと思ひます。学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりしながら、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長の手助けができればと思ひます。

学習環境や生活環境等に関する調査結果では、今年度も家庭教育力が高く、児童にとって恵まれた環境にいることがわかりました。学校でも教育活動全体を通して、子どもたちの良いところを認め、また互いに認め合い共に学び合う機会を作り、自尊感情を育んでいきたいと思ひます。また、全学年でのいじめ予防授業、トリプルチェンジやデジタルシティズンシップ教育も引き続き実施していきます。

学校では、子どもたちがどんな状況にも対応できるよう思考力・判断力・表現力の育成に努めてまいります。今後の学校の取り組みにもご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。